

郵政民営化委員会（第１１回）議事要旨

日時：平成１８年１０月１８日（水） １４：００～１６：２０

場所：虎ノ門第１０森ビル５階 郵政民営化委員会会議室

（委員５名のうち、４名出席。大田委員欠席）

○ 議事に先立ち、菅総務大臣・郵政民営化担当、田村総務副大臣、谷口総務大臣政務官からの挨拶があった。菅大臣からは、「郵便貯金銀行及び郵便保険会社の２社の業務拡大については、「経営の自由度の拡大」と「民間とのイコールフットINGの確保」の両面のバランスを取りながら適切に進めることが重要であり、委員会において、この点に関する検討がしっかりと行われ、遅くとも年内には、できるだけ明確な形で、個別の新規業務の調査審議に向けた委員会としての方針を示されることを期待している」旨の発言があった。

○ その後、郵便貯金銀行及び郵便保険会社の新規業務等に関する調査審議として、日本損害保険代理業協会、公正取引委員会、東京証券取引所、野村資本市場研究所から意見聴取を行った。

○ まず、日本損害保険代理業協会から資料１に沿って、

- ・小規模代理店が多く、手数料収入も減少傾向にあるといった、損害保険代理店の実態を踏まえれば、事実上の国営会社であり絶大な信用力を有している郵便局会社が損害保険を扱うことは公正な競争とはいえない。
- ・少なくとも、郵便保険会社の生命保険を、既存保険代理店が扱えるようになるまでは、郵便局会社に損害保険の扱いを認めるべきではない。
- ・また、コンプライアンス態勢に問題がないことが判明するまでは、郵便局株式会社による損害保険販売を検討すべきではない。

等の意見が述べられた。

これに関し、委員との間で、

- ・郵便局会社に対して２０１７年以降も国の間接的出資が続くことと、公正な競争環境との関係
- ・郵便局会社が複数の保険会社の商品を扱うことの具体的な困難性や、ユーザのメリット
- ・既存の損害保険代理店が、郵便局舎を借りるという選択肢の可能性

等に関して質疑があった。

○ 次に、公正取引委員会から資料２に沿って、

- ・不公正な取引方法、事業支配力の過度集中といった独占禁止法の規定を紹介したうえで、独占禁止法違反行為を未然に防止するため、郵便事業会社、郵便局会社、郵便貯金銀行及び郵便保険会社それぞれにおいて、関係法令の周知及びコンプライアンス体制の整備を行うことが必要といった意見が述べられた。

これに関し、委員との間で、

- ・競争促進の観点からみた郵政民営化の評価
- ・これから過度集中が起こっていく事案と、完全民営化に向けて過度集中を排除していくために過渡

的に集中状態になるような事案についての、独占禁止法の運用上の扱いの差異等に関する質疑があった。

○ 続いて、東京証券取引所から資料3に沿って、

- ・新規上場時の資金調達額の年間合計金額は、2004 年がピーク（約9千億円）。2004 年の売り出し額には新生銀行や電源開発が含まれており、銀行等の上場のインパクトは大きい。
- ・上場審査においては、内部統制システムの構築、親会社から独立したコーポレートガバナンス、親会社等グループとの取引の適正性、買収防衛策において株主の権利が不当に制限されていないこと等のほか、一定期間の実績がポイントとなる。

等の意見が述べられた。

これに関し、委員との間で、

- ・新規株式公開にあたってのマーケットにおける資金需給
- ・上場審査にあたって、過去の実績として東京証券取引所が確認する期間

等に関する質疑があった。

○ 最後に、野村資本市場研究所の大崎研究主幹から資料4に沿って、

- ・民営化にあたっては、国民共有の財産である民営化企業の株式を正当な価格で売却するなどの点について考慮が必要だが、現在の実施計画からみた郵便貯金銀行の株式の評価は、地方銀行下位行クラスにすぎない。
- ・新規事業や新商品に関するある程度の実績がなければ、将来計画だけで市場を納得させるのは難しい上、民営化の初期段階では、法制度や政治動向の不透明感が、将来計画に対する信頼性を低下させる恐れがある。
- ・郵貯、簡保の現在の事業形態は、「官業」としての歴史の中で形成されてきたものであり、そのままの形で民間企業として成功を収められるものではないのではないか。

等の意見が述べられた。

これに関し、委員との間で、

- ・金融商品の組成力や販売力からみた郵便貯金銀行の評価
- ・法制度や政治動向の不透明感による将来計画の信頼性低下の払拭方法

等に関する質疑があった。

○ 次回委員会の開催日程については、別途事務局から連絡することとした。

（注）以上は事務局の責任でとりまとめたものであり、速報のため事後修正の可能性があることに御留意下さい。また、詳細については追って公表される議事録をご覧ください。